



今年は、記録的速さで桜が開花しました。当院正面のしだれ桜も4月初めに咲き誇りました。

新型コロナウイルス感染のパンデミックから1年以上たちましたが、収束するどころか、感染者数の高止まり状態が続いています。切り札になるであろうワクチン接種も、なかなか進まず、当院の職員への接種もまだ行われていない状況です。



新年度となり、4月1日付けで、10名の方が当院に新採用となりました。よろしくお願いします。

4月1日付けで村上総合病院から、**柴田看護部長**が着任されました。豊栄病院で目指す看護などについてお話しいただきました。「看護部は患者様が「いつでも、どこにいても、その人らしく生きる」ことを大切にしております。患者様に一番近い専門職として、医師をはじめ多職種と連携し、患者様にとって最善を考えた心温まる医療、看護が提供できるよう努力していきたいと思っております。4月から新人看護師が加わり、新たな体制となりました。どうぞ宜しくお願いいたします。」

相羽路子(あいば みちこ)医師が4月1日から当院に赴任されました。「この4月から赴任しました相羽路子と申します。生まれも育ちも新潟で、平成17年新潟大学を卒業し、平成19年新潟大学消

化器内科学教室に入局しました。地域の皆様のお役に立てますよう努力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。」



令和3年2月、当院のホームページを完全リニューアルしました。この中の看護師募集の動画が、「第62回新潟広告賞」のインターネット広告部門で「優秀賞」を受賞しました。医療分野での受賞は初めてという事です。賞状およびクリスタルのトロフィーをいただきました。

上記写真;稲葉前看護部長・宮島・主演女優Ns

当院は今まで、看護学生や薬剤学部・リハビリの学生などの実習を受けもっていました。また“地域医療”研修のために主に卒後2年目の研修医の受け入れも行っており、今年度は4名の医師・延べ8か月間研修予定となっています。4月からは**叶 許緑(ヨウ キョリョク)**先生が1か月間研修されています。さらに今年度から、**新潟大学医学部の5年生の総合診療学の研修**も受け入れることとなりました。これは、令和2年12月1日新潟大学医学部に“**総合診療学講座**”が新設され、総合診療学を学ぶ学生の実習病院の一つとして当院が選ばれたためです。当院のような地方の病院においては、総合診療医の存在は不可欠であり、その育成に協力を行うことにしたわけです。具体的には、今年度は5名の学生が各々2日間当院で実際の患者さんの問診などを行い、診断過程などを学ぶことになると思います。よろしくお願い致します。

発行責任者;豊栄病院病院長 宮島 透